

『課題小論文』に関する内容（日本文化学科）

試験では下記のテーマに関する小論文を記述してください。（試験時間 80 分）

■ 日本文化学科 ■

【第 1 回公募制推薦入試】課題テーマ

『IT の発達とその弊害』

IT の発達により、人々の暮らしが便利になるとともに問題も生じています。現在起きている問題、今後生じることが予想される問題を一つずつあげそれぞれの対処法について 800 字以内で述べてください。

<アドバイス等>

問題点の指摘だけに終わらないようにしましょう。問題に対する対処法に比重を置いて書いてください。

【第 2 回公募制推薦入試】課題テーマ

『「不言実行」のメリットとデメリット』

「不言実行」という四字熟語がありますが、現代社会においては、「不言実行」が好まれる場合とそうでない場合があります。「不言実行」のメリットとデメリットを、具体例をあげながら 800 字以内で述べてください。

<アドバイス等>

まず「不言実行」という言葉の意味を紹介してから、メリット、デメリットを紹介するとよいです。最後に、メリット、デメリットを考える中で自分自身が発見したことを書いて文章を締めくくるとよいと思います。

【注意事項】

新しい段落に移るための改行に伴う空白のマス目は文字数に含めます。

【試験に持ち込むことが可能なもの】

あらかじめ自分で用意したメモ（本学所定の用紙に 400 字以内）

メモは試験終了後に回収します。

メモ用紙は次のページ

広島女学院大学 人文学部 日本文化学科

2023年度 公募制推薦入試「課題小論文」指定メモ用紙

受験番号

枠内の文字数(400字)以内で記載をして下さい。このメモ用紙は試験会場への持ち込みが可能です。

																					20	
																						100
																						200
																						300
																						400

【注意】この用紙は試験終了後に回収します